

3月号他ページの主な記事
2面 寒参詣初日の報告、佛立ミュージアム テラコヤスコラを開催
3面 2支 本成寺で盛大に成人式1、権大僧正列伝④ 加藤日温上人
4面 「東日本大震災 復興だより」
5面
6面 体験談：5支・清雄寺 佐々木敏子さん、8支 室蘭寺 前田弘子さん
7面 佛立この人：1支 宥清寺 森川堅斗氏、2支 清風寺「カイエンくん」誕生、
8面 門祖日隆聖人物語⑤、新宗会議員の抱負

本門佛立宗機関紙



佛立新聞 THE BUTSURYU SHIMBUN

平成25年3月1日発行
発行所 本門佛立宗務本庁
京都市上京区御前通一条上る東聖町110番地 (〒602-8377)
電話 (075)461-1166 (代)
振込口座 京都 18650
発行人 澤田日松 / 編集人 橋口清遠
購読冥加料 一部50円



布教区全体の誓願を言上する岡田道雄弘通参与



激励される日教上人

第5支庁管内教講が清雄寺に集結
日教上人御墓前式と促進大会
門祖550から開導聖人ご生誕200年に向けて



墨田リバーサイド・ホールで開催された促進大会 (円内は木村宗務総長)

第五支庁東京・清雄寺では、一月十五日午前十一時より、御講導・小山日教上人ご唱導のもと、佛立第四世講有日教上人御墓前式が奉修され、支庁長・川手日成師が平成二十四年度弘通報告を、支庁管内各布教区長より平成二十五年度弘通誓願が言上された。

一月七日)の読み聞かせを聴聞し、ご墓前参詣の後、墨田リバーサイド・ホールに移動。午後一時より「門祖五五〇御正當開導聖人ご生誕二〇〇年慶讃佛立開花運動の推進大会」が行われた。川手支庁長は「四月二十七日から二十九日の門祖五五〇総修大法要には一人でも多くの人をお誘いし、参詣させていただきましょう。また今年から開導聖人ご生誕二〇〇年に向かう慶讃ご奉公『佛立開花運動』が始まり



宮崎布教区長の立誓



川手支庁長の報告

さらに、平成二十九年に開導聖人ご生誕二〇〇年をお迎えいたします。三祖さまの中でも、一番身近に感じられる開導日扇聖人がこの世に誕生になられたからこそ、今私ども佛立宗徒は、お祖師さま、門祖聖人から正しく伝えられてきた上行

所伝の御題目様を持たせていただけなのです。今年、門祖さまの五五〇回遠諱の締め、年々結実の年です。そして開導日扇聖人ご生誕二〇〇年慶讃ご奉公の出発の年です。支庁内の全寺院、教会挙げてご奉公に励まさせていただきます。はげましの詞をお述べになられた。



川手布教区長の立誓



高野布教区長の立誓



竹村布教区長の立誓

宗務総長という大役を頂戴いたしました。本堂に恵美姉より信行体験談が発表され、続いて宗務副総長・植松常次郎氏の乾杯があり、最後に次長・太田信充参与の閉会のご挨拶を心よりお願い申し上げる次第です」と挨拶を述べられた。

その後、清雄寺・佐々木敏子姉、唱題寺・関根恵美姉より信行体験談が発表され、続いて宗務副総長・植松常次郎氏の乾杯があり、最後に次長・太田信充参与の閉会のご挨拶を心よりお願い申し上げる次第です」と挨拶を述べられた。

2支 北大阪布教区の弘通立誓式
魅力あるお寺作りをと講話拝聴
北大阪布教区(西村日明布教区長)では、去る二月十一日、清現寺(住職・西村日明師)を会場に、本年度の布教区弘通立誓式が行われた。午前十時からお看経が始まり、その中で、立誓式が執行され、布教区内十三カ寺の弘通誓願が各寺院の局長から御宝前

に奉呈され、続いて管内各寺院の教養各会を代表し、布教区連絡会の四会代表から弘通誓願が奉呈された後、各寺院の誓願をまとめて岡田道雄布教区弘通参与から教化四七五人、増加一七七人、助行八万四九六八回が立誓された。

再発見!—こうい時代だからこそ—と題して講演があり、門祖聖人がご奉公された時代と、現代が色々な意味で共通している。その中で自分の役割を再認識し、魅力あるお寺作りを努めよう、とお話をされた。

立誓式後は、管内各寺院の住職・局長・弘通部長・教養各会連絡会の会長による布教区総会が開催された。当日は、晴天のお計らいをいただき、管内十三カ寺から予定を上回る三六六名の参加があった。

本山初灯明料と奉納御札
一部は本山に納められ、他は宗務機関へ交付され、宗門へ弘通のための大きな力、財源となるものであります。ここにあらためて、厚く御礼申し上げます。さらにお初穂心を促進くださるようお勧めいたします。平成二十五年三月一日

「人間は才能があつたほうがいいし、学問もあつたほうがいい。技術を持つていたほうがいいし、できれば美人のほうがいい。あるいは男前であつたらいいし、しかし、それらを全部持つていても、全然つまらない人がいますね。何の魅力もない人がいます。そうかと思うと、そのうちのひとつしか持つていなくても、大変チャーミングな人もいます。魅力的な人が—これはあるインタビューで司馬遼太郎さんが語つていたもの—京都千本出水のお豆腐屋さんの店先に、大きな草履ほどのお揚げが並んでいる。お腹もペコペコ、その場で食べたいとお願ひすると、親切に火で炙り、小さく切り、おまけに大根おろしまですって出してくれた。醤油をかけ、ほおばっていると、笑顔でおばあちゃんが「飯もあるよ」と声をかけてくれる。とても心地よい時間をいただいた。これから本門さんへ行くのですよ」と語り「近所にも毎日お詣りする人がいるよ」との返事。『小さな親切運動』を思い出す。東京大学茅誠司学長が「知識を持つていてだけではなく、その教養を社会に生かすことが重要」と発言したことから運動が始まったという。開導聖人ご生誕二〇〇年に向けて佛立開花運動が展開される。何よりも魅力的な御題目を、宝の持ち腐れにせぬよう一人ひとりの小さな親切運動で、より多くの菩薩の花を咲かせよう。

今月の宗門行事予定
6/8日 第二〇二回定例(予算)宗会
14日 総合教育委員会と団主任合同会議
15日 佛立教育専門学校平成二十四年度卒業式
20日 春分の日 春季彼岸会
27日 学校・研究所共催第22回研究発表大会
27/28日 佛立修学塾教員研修会
3日 耳の日
8日 日朗菩薩御赦免状を持って佐渡着
文永十一年二月十四日、鎌倉幕府は、お祖師さまの佐渡流罪を解くことを決定した。この赦免状を日朗菩薩がたずさえられて佐渡のお祖師さまのもとへ着いたのがこの日。十三日にお祖師さまは佐渡一ノ谷へ出立。真浦十四日。越後柏崎着十五日。二十六日鎌倉へ戻られた。
12日 佛立第三世講有日随上人御誕生
上人は嘉永七年三月十二日、京都室町御池上ル、野原久兵衛の三男としてご誕生。幼名を弁吉、また弁二郎と称された。文久二年九歳のとき、開導日扇聖人の門下に入る。明治元年九月十七日、十五歳の時、本能寺塔頭に於て剃髮得度。法諱弁と称された。大津佛立寺第三世住職、大阪本成寺住職等を歴任のご待遇を受け、自ら奔走し、買取したご誕生地道場にお住居を移して、第二世日開上人の行化を側面より扶けられた。明治四十四年、五十八歳の九月、日開上人のご遷化によって第三世講有を嗣法。大正九年十二月十二日、六十七歳でご遷化された。
20日 春分の日 彼岸会 春分、秋分の日をはさんで、前後各三日の七日間行われる法会で、彼岸とは涅槃の世界、寂光浄土で、これに対して、此岸とは現実の娑婆世界をいう。古来一般俗人は、この彼岸にのみ寺院に参詣し、また墓参をして日ごろの懈怠を反省し、仏道修行の機会とした。しかし、私共佛立信者は、常盆常彼岸と心得て、日々夜々に信心に励み、娑婆即寂光の思いを抱いておかねばなりません。
25日 電気記念日